

タイトル『江戸川乱歩 魔術師』

著者：江戸川乱歩

出版社：KADOKAWA

江戸川乱歩の『魔術師』は、名探偵・明智小五郎が
怪しい「魔術師」と呼ばれる犯罪者に挑む推理小説です。

物語は、奇妙な事件や変装・トリックなどまるで「魔術師」の
ような展開が続き、読者を現実と幻想の境界へと引きこむ
最後まで目が離せないです。

読み終えて感じたのは、単なる謎解き以上に「人間の心の闇」
を描こうとする乱歩氏の視点の鋭さです。事件を通して
理性と欲望、現実と幻想のあいだで揺れる人間の姿を浮かび
上がらせているということです。
独特の世界観が楽しめる何度読んでも飽きない物語です。

投稿日 年 月 日

ペンネーム（本名は書かないでね！）

つなまよ

年齢

13

仙台市

図書館 YAコーナ